

魔除けの多様性と外来要素の吸収・受容

スペインと京都の事例から

土谷 輪（京都大学大学院）

魔除けとは、守護や招福など何がしかの効力を有し、発揮されるとされるモノと広義に捉えることができるだろう。発表者は修士課程に置いて京都で用いられる魔除けというモノに関して調査をし、2018年度より同様の関心を維持しつつスペインにおける調査を開始した。本発表の目的は大きく二つに分類される。第一にスペインにおける調査の成果報告、第二にスペインにおける外来要素の需要に関して、京都との比較を通して考察を行うことである。

まず第一に、スペインでの魔除けの現状についての調査報告である。スペインではカトリックの奇跡譚や聖なるモノに由来するもの、かつてイベリア半島を占領しアル・アンダルスと称したイスラムに由来するもの、エジプトなどの地中海地域、さらには民間信仰的なものを含め様々な由来、伝承をもつ魔除けが今なお用いられていることが明らかになった。そのような多種多様なモノが用いられるのと同時に、特定の宗教に帰依することなく魔除けという力を有するモノを日常的に使用しているという側面が見受けられた。

この着目点から発表者は2018年8月～10月に調査を行った（また2019年に再度調査予定、要旨登録当時）。魔除けの使用は多くの場面で日常的に見られる実践であり、これらの受容と実践もまた多様な人々により行われる。例えば宗教、特にカトリックに帰依しない無神論者（西語：アテオ ateo）と呼ばれる人々、または特定の宗教に帰依する人々などである。こうした人々による実践、とくに宗教ごとに異なる方法で行われる魔除けというモノへ定義づけや民間信仰、魔女信仰との関係から捉えられる魔除けを考察したい。特にEUの中でも移民の割合が最も高いと言われるスペイン[辰巳 2012:200]では、カトリック、イスラム、ユダヤ、ヒンドゥーを始め数多くの宗教が混在しており、こうしたカテゴリーに分けられる人々の中でいかにして魔除けというモノが用いられているのだろうか。この疑問に対し、モノの流通という観点からフェティシズムの考え方を用いて分析を試みたい。日本語で呪物と称されるフェティッシュに関する人類学的な研究はピーツのフェティシズム論[ピーツ 2018]をはじめ、Graeber[2005]、石井[2003]などが挙げられるが、こうしたフェティッシュに関する研究に共通する要素はモノが流通するという特性であるといえよう。力を持つとされるモノの移動、流通から魔除けを捉えることにより、スペインにおける宗教のあり方を考察したい。

キーワード 魔除け モノ研究 スペイン 京都

第二の目的は、多種多様な外来要素の受容という状況を京都の事例とスペインの状況を比較検討することである。人類学においては古くから、特定の境界の外部から流入する要素については異人論、象徴的抵抗論とも言われる西洋社会と「非西洋」との接触[eg.Taussig 1980]、植民地支配に伴う布教とそれに対する抵抗にといった観点から論じられ、それら外来のものは現地文化よりも強力、強大なものとして捉えられてきたと言える。こうした研究がフィールドとした地域は旧植民地であり、そこに絶対的な力を振るったのがスペインをはじめとする旧宗主国である。被支配者にとって、支配者は自らの域外から訪れた強力な存在だったと言えるだろう。

かつて中南米地域を広く植民地支配したのがスペインであるが、現代においても外来の要素は強力なものと捉えられる。それは現代スペインにおいて用いられる魔除けの由来の多様性に現れていると言えるのではないだろうか。上述のように多様な由来を持つ魔除けがスペインに流入し、受容され、実際に使われているのである。この論点は、発表者の修士課程での調査対象であった魔除けについても指摘できる点であり、修士論文において論じきれなかった部分でもある。京都で用いられる魔除けが歴史的に持つ外来要素（あるいは、より広くは日本における外来の要素）はここでは、上述のように強力な外来要素の受容という現象をよく表していると言えるだろう。発表者が以前調査をしていた祇園祭に関わる魔除けや鍾馗という京都に特徴的な魔除けも同様の特徴を持つ。こうした外来要素の吸収と需要という点について、日西双方の状況を鑑みて考察してゆきたい。

参照文献

- Taussig, Michael.1980.*The Devil and Commodity Fetishism in South America*.The University of North Carolina Press.
- Graeber, David. 2005. “Fetishism as social creativity: or, Fetishes are gods in the process of construction”. *Anthropological Theory*,SAGE, Vol 5(4): pp407–438
- 石井美保.2003.「精霊の流通—ガーナ南部における宗教祭祀の刷新と遠隔地交易—.『民族学研究』68巻,2号:pp189-213.
- 辰巳浅嗣.2012.『EU 欧州統合の現在 第3版』創元社: p200.
- ピーツ、ウィリアム『フェティッシュとは何か—その問い合わせの系譜』杉本隆司訳,以文社.